

安田倉庫株式会社向け本邦初「ソーシャル・ハイブリッドローン」の 契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、安田倉庫株式会社（代表取締役社長執行役員：藤井 信行、以下「安田倉庫」）との間で、安田倉庫東雲営業所（東京メディカルロジスティクスセンターI）に関するリファイナンス資金を資金用途の一つとして、本邦初のソーシャル・ハイブリッドローン（以下「本ハイブリッドローン」という。）を複数トランシェからなるシンジケーション方式で組成しました。

ソーシャルローンとは、「ソーシャルローン原則」（※1）に準拠し、社会的課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンのことです。

また、ハイブリッドローンとは、負債と資本の中間的性質を持ち、負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息繰延、超長期の償還又は返済期限、清算手続及び倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質及び特徴を有し、格付機関から調達金額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることができる資金調達手法となります。

本ハイブリッドローンの組成にあたり、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所から「ソーシャルローン原則」および金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン」（※2）に準拠している旨の評価を取得しており、「JCRソーシャルローン評価」の最上位評価である「Social 1」（※3）の総合評価を取得するとともに、その商品性を踏まえ資金調達額の75%が資本に相当する資本性「高・75%」の認定を受けました。

安田倉庫グループは「健全な企業活動を通じて、お客様、株主、従業員、地域社会の期待に応え豊かさと夢を実現する」という経営理念の下、「高品質で安全なサービスと最適な環境の創造」を持続的成長に向けた重要課題の一つと特定した上で、課題解決に向けた取り組みの一つとして「メディカル物流を通じた医療課題の解決」を推進しています。

東雲営業所は、腹膜透析分野・整形外科分野・内視鏡分野等幅広い分野の医療機器を取り扱うと共に、「医療機器適切保管のための温度帯設備」「非常用発電装置」「ISO13485認証」「医療機器販売業等の各種許可」など医療を止めないためのBCP対応が確りと整備されている医療機器物流センターであり、医療機器の安定供給を通じて人々の健康と生命に貢献しています。

みずほ銀行は、安田倉庫の医薬品、医療機器の安定供給により人々の健康と生命を守るという使命の下、「メディカル物流」を推進し、より安全で安心な医療インフラの構築に貢献する取り組みをファイナンス面から支援すべく、本ハイブリッドローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、ファイナンスやコンサルティング機能を通じて、お客さまの企業価値向上やSDGs達成に貢献していくとともに、多様なソリューションの開発・提供に積極的に取り組んでいきます。

〈本契約の概要〉

借 入 人：安田倉庫株式会社

ア レ ン ジ ャ ー：株式会社みずほ銀行

貸 付 人：株式会社みずほ銀行、農林中央金庫、株式会社日本政策投資銀行、
明治安田生命保険相互会社他、計5社

組 成 金 額：150億円（うちソーシャル認証トランシェ：計60億円）

契 約 締 結 日：2022年2月24日

（※1）ソーシャルローン原則：

英 Loan Market Association (LMA)、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association (APLMA)、米 Loan Syndications and Trading Association (LSTA) が、2021年4月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン。

（※2）ソーシャルボンドガイドライン：

金融庁がソーシャルボンドの普及を図ることを目的として、国際資本市場協会 (ICMA) により2021年6月に公表された「ソーシャルボンド原則」との整合性に配慮して2021年10月に策定したガイドライン。

（※3）株式会社日本格付研究所 (JCR) による評価レポートをご参照ください。

(<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

以 上